

ほたる田に蛍を飛ばそうプロジェクト

小田原市立千代小学校

1. 実践の内容（第4学年：「総合的な学習の時間」を中心に実践）

①プロジェクトの立ち上げ

- ・地域の自然環境を調べ、水生生物の観察から「ほたる田」のきれいさを実感する。水質を保つ手段として、蛍を飛ばすプロジェクトを立ち上げる。

②蛍のすむ水路の整備

- ・地域の講師の方から話を聞き、蛍の餌となるカワニナがすめるように「ほたる田」の水路を深く掘り、砂利を敷き詰め、カワニナを放流する。

③蛍の幼虫の放流

- ・地域の講師の方から蛍の幼虫を約100匹いただき、放流する。その後、水路のごみ取りやザリガニ駆除を定期的に行う。校内で幼虫を育て、成長の様子を知る。

④地域への広報活動と苗木植え

- ・看板やポスターでプロジェクトを地域に発信する。「ほたる田」の改修作業を保護者・地域の方と行い、蛍の成虫が休める場所となるイチジクやアジサイなどの苗木を植え、成虫になる日を待つ。

2. 実践の成果

- 幼虫を放流する前の水路の整備、放流後の水路の環境整備（ゴミ取り、ザリガニ駆除など）、ほたる田の改修や苗木植えなど、幼虫の放流だけでなく1年間をかけて計画的な活動ができ、次の年につなぐことができた。（「蛍を見たい」という強い思いがあった）
- 地域の自然環境、特に水に対する興味・関心が深まり、きれいな水を守っていかうとする活動につながった。
- 平成24年5月に2年間の成果として蛍が観察でき、さらに子どもたちの意欲が高まった。

3. 実践のポイント

- 「ほたる田」の水のきれいさを守るために蛍を飛ばすというプロジェクトの目的と、めざすものを明確にして実践することが大切である。（何のために行うのか（ミッション）、何をめざすのか（ゴール））
- 地域や保護者の方々の協力を得ながら、継続した活動を行うことが大切である。

※ほたる田…地域の方からお借りしている田の名称であり、体験学習に活用している。

